

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-3-1	事務事業名 IT関連事業	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	-----------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 情報技術に関する基礎技能を広く普及させることを目的に、必要な技能の修得を図る初心者のための講習を行う。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 市内在住市民を対象。1人12時間で終了。(1)基本(2)基本復習(3)ステップアップワード(4)同エクセル(5)同ホームページの5つのコースを設置し、デジカメやスキャナー等の操作を交えて、各コースとも入門編をマスターする。民間の専門業者に事業委託。[平成17年度講習会]	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 講座開催回数	活動指標の考え方(定義) パソコン操作学習の講座を開催した回数
	成果指標名 講座参加者数	成果指標の考え方(定義) パソコン操作学習の講座に参加した人数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		7,915	5,284	5,242	4,045
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		7,915	5,284	5,242	4,045
	所要人員(B)	人	0.40	0.30	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,298	2,482	1,666	1,666
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	11,213	7,766	6,908	5,711
	単位当たりコスト (E)=(D)/(講座開催回数)	千円	186.89	180.60	172.69	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			40	36
	実績値	回	60	43	40	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			640	576
	実績値	人	838	631	619	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	興味ある内容、アシスタント等も丁寧な対応(満足95%) 期間が短い、他の機能も紹介して欲しい(普通4%) 内容が平易、スピードが早い、難しい(1%) 【平成16年度のアンケートより】
	国・都・他市・民間等における類似事業	自治省の「IT講習推進特別交付金」の創設により、平成13年度から全国多数の自治体でハードの整備をおこない、現在もかなりの市町村が何らかの形で講習を実施している。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 13-3-1	事務事業名 IT関連事業	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	-----------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	平成15年度までは毎年各コースとも定員を超える応募があり、受講者の要求に対する目標はこの間概ね達成できたと思われる。また平成16年度も前年度同様多くの受講者を迎え実施したが、ハード面での遅れが出始め、時代の流れに対応した整備が必要であった。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	IT機器の普及に伴い、地域の初心者への技能講習に貢献してきたことから既に基礎的な講習会の役割は終了したと考える。今後は本来の公民館活動におけるIT支援の可能性を考え、例えば参加者自身が自分たちの学んだことが「作品」として形になることで喜びを実感できるようなプログラムを展開し、地域の発展的学習の場の提供という視点から事業を展開していく必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	専門の民間業者に講習を委託していることで、親切かつ丁寧な指導により、受講者側の評価としてはすこぶる良好と思われる。担当する職員の負担も過大でなく、参加者のレベルに応じた講習内容が組め、参加者のあらゆる要求にも対応が可能である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	テキスト代などの徴収で民間に比べ安価であり、公民館という公的機関の気安さから平成15年度までは平均2～3倍の応募があり、期間を区切り、はがきで応募を受けて抽選をおこなっている。受講できない希望者への対応も含め、講習の形態や回数を見直さなくてはならなかった。今後は公民館講座を中心としてテーマごとに参加者に応募を促すよう内容の変更をしていきたい。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成13年度に実施して以来多くの受講者の参加により初心者への知識・技能の向上という当初の目的は達成したと思われる。今後はキャリアセンターと公民館活動としてのIT講習の差異を認識し、公民館が本来目指すべき「地域づくり」「人づくり」に向け単なる技能講習でない、公民館講座の中で生かせるIT利用の方向を目指すべきである。また地域の人材による「ITボランティア講座」などサポート体制も行う必要がある。最後にOS機器がW98対応なので、今後はメンテ等に支障が生じるため、現状の機器のままでの事業実施は困難になってくる。

17年度における改善点	従来から続けてきた基礎コースの回数を減らし、公民館利用者(団体)が自らの活動をアピールするため、ブログ等を使用してホームページを作成することを重点項目とする。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。